

SUNHAK
PEACE
PRIZE

ストップ! 女子割礼

LEARN & ACT

“砂漠の女ディリー”

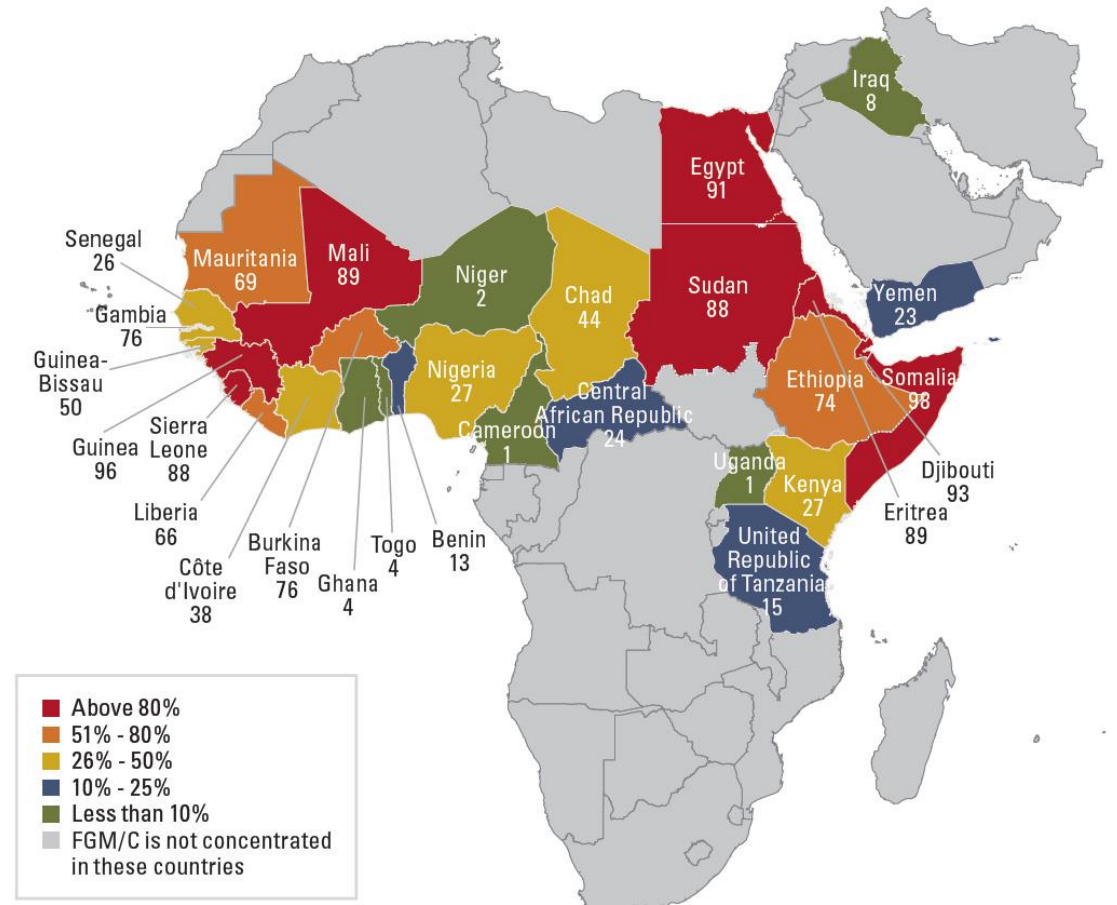
- この話はどんな状況を描いたものだろうか？
- 自分がもし話の中の‘私’だったら、どんな気持ちだっただろうか？
- このような話に関連して知っていることはあるか？
- 女子割礼(FGM)について聞いたことがあるか？



©Shutterstock.com

女子割礼に関するある地図

- 地図の中の国々が持つ共通点は何だろうか？
- 地図に書かれた数字は何を意味するだろうか？
- 地図の中の国のうち、最も高い比率を占めた国家はどこだろうか？ 聞いたことのある国だろうか？



©UNICEF 2016

1. 女子割礼とは何だろうか？



©shutterstock.com

- 女性性器切除(FGM)
- 非衛生的で、激しい痛みと出血を伴う多様な施術
- 『割礼は健康、安保、身体的安定性に対する個人の権利を無視する行為であり、拷問に近い残忍で非人間的な行為である。生命権を侵害する行為でもある。』-世界保健機構(WHO)

2. 女子割礼はどのように始まったのだろうか？



©shutterstock.com

- 4千年間受け継がれてきた伝統
- 起源に対する様々な推測
 - ① 疾病予防と円満な性生活、衛生のためのもの
 - ② 多産神に捧げる祭物
 - ③ 成人になるための通過儀礼

3. 女子割礼はなぜ行われるのだろうか？

- 成人になるための通過儀礼
- 婚前純潔のための装置
- 一夫多妻制の強化手段



© REUTERS/Siegfried Modola

©REUTERS/Siegfried Modola

4. 女子割礼はどのように行われるのだろうか？

- 施術者は村の産婆
- 対象は4-15歳の少女
- 道具はカミソリ、ハサミ、割れたガラス片、鋭利な石など
- 施術後は村祭りを開催



©flickr.com

©commons.Wikimedia.org

5. 女子割礼は世界的にどれだけ多く行われているだろうか？



©shutterstock.com

- 全世界で2.5億人
- 11秒に1人、毎日7850人
- アフリカ、中東、アジアの30余ヶ国で施行
- 2050年には..

6. 割礼後、女性の人生はどのように変わるのだろうか？



©UNHCR/John Wessels

- 生涯続く身体的後遺症と合併症
- 精神的後遺症

7. 割礼から逃れて難民となる女性たち

- 割礼から逃れて逃亡する女性たち
- 女子割礼、難民申請の理由となり得るだろうか？



©flickr.com



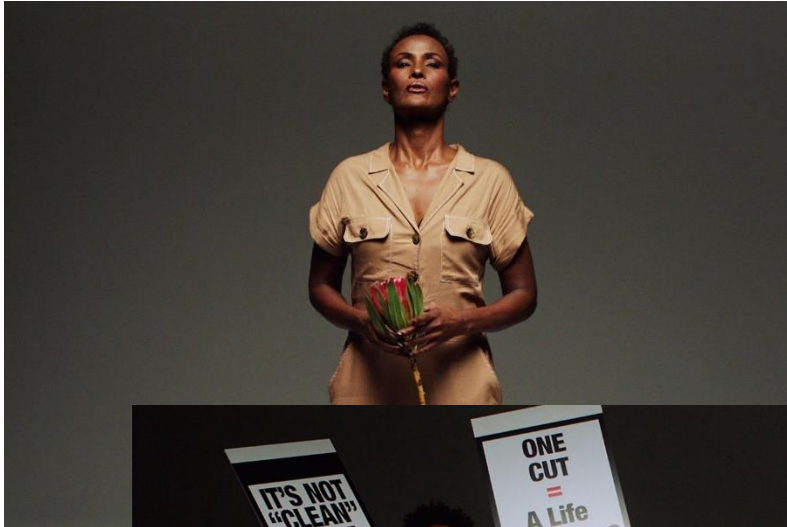
©UNHCR/Brendan Bannon

8. 女子割礼撤廃のための努力：認識改善



- 割礼は美しい伝統なのか？
- 女性自らの認識を変える教育
- 共同体の認識を変える教育

8. 女子割礼撤廃のための努力：人権団体



- 1990年代、女子割礼の暴力性が世界に公開
- 全世界的な割礼撤廃キャンペーン

8. 女子割礼撤廃のための努力：国際社会

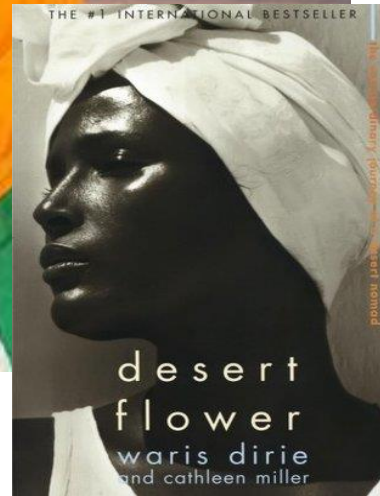


- 2月6日は女子割礼撤廃の日
- アフリカ連合、女子割礼を法的に禁止
- 国連の持続可能な開発目標5.3：2030年までに女子割礼を完全に撤廃

9. 女子割礼撤廃のために戦った人々



©desertflowerfoundation.org



©goodreads.com

- ワリス・ディリー(1965-):ソマリア出身のスーパーモデル、割礼撤廃のための国連特別人権大使。
- 幼少期に体験した割礼の苦痛を告白し、FGM根絶運動と国際法制定を導いた。割礼危機に置かれた数億人の少女を救済した功労により、2019年第3回鮮鶴平和賞を受賞。

9. 女子割礼撤廃のために戦った人々



©commons.Wikimedia.org

Tostan
Dignity for All



©commons.Wikimedia.org

- モリー・メルチング(1949~): アフリカ女性の人権のために戦ったアメリカ出身の人権運動家。
- 西アフリカ、セネガルで非政府機構「トスタン」を組織して活動、FGMに対する認識を改善し撤廃のための教育、キャンペーンを実施した。セネガルと周辺国の様々な村共同体をFGM中断宣言に参加させた。

10. 女子割礼撤廃のために私たちにできることは何だろうか？

- 私たち皆の関心が必要
- 割礼撤廃のために行動



©mhcs.health.nsw.gov.au



©ecrgroup.eu







My name is Jaha Dukureh and I am the UN Women Goodwill Ambassador for Africa.